

地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議

共愛学園前橋国際大学の地域人材育成 & 「めぶく。プラットフォーム 前橋」について

前橋市長 山本 龍

共愛学園前橋国際大学学長 大森昭生



めぶく。
プラットフォーム
前橋





共愛学園前橋国際大学の 地域人材育成

共愛学園前橋国際大学の概要

共愛学園の沿革

- 1888年（明治21年）
前橋英和女学校開校
- 1889年
上毛共愛女学校と改称
- 1939年
共愛幼児園開設
- 1947年
中学・高等学校の併設
- 1988年
共愛学園女子短期大学開学
- 1999年
共愛学園前橋国際大学開学
- 2009年
共愛学園木瀬保育園開設
（前橋市より移管）
- 2011年
共愛学園学童クラブ開設
- 2016年
共愛学園小学校開校
共愛学園こども園開設

共愛学園に連なる学校

共愛学園こども園

共愛学園学童クラブ

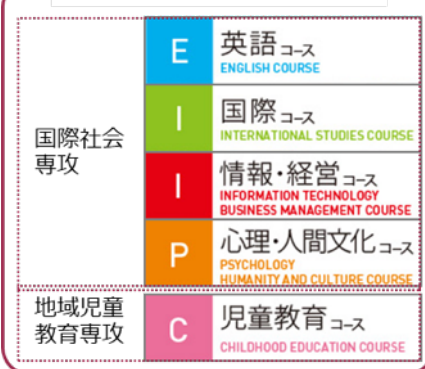
共愛学園小学校

共愛学園中学校

共愛学園高等学校

共愛学園前橋国際大学

国際社会学部 国際社会学科



共愛学園前橋国際大学の概要

名 称	共愛学園前橋国際大学
英語名	KYOAI GAKUEN UNIVERSITY
理 念	共愛 = 共生の精神
目 的	国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成
モットー	学生中心主義 地域との共生 ちょっと大変だけど実力がつく大学です
定 員	入学定員255名（2021年度より299名） 収容定員990名
経 営	—2019年度決算— 借入金無 教育活動収支差額¥71,284,283

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie



明和学園短大と共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携

明和学園短期大学
共愛学園前橋国際大学短期大学部

2021年、明和学園短大が移管により共愛学園前橋国際大学短期大学部へ（名称変更予定）

生活学科：子ども学専攻 栄養専攻

4年連続 5位

学長が教育面で評価する大学

- | | |
|------------|--------------|
| 1.金沢工業 | 6.立命館アジア太平洋 |
| 国際教養 | 7.立命館 |
| 3.国際基督教 | 8.千葉 |
| 4.東京工業 | 9.上智・芝浦工業 |
| 5.共愛学園前橋国際 | 11.京都・筑波・早稲田 |

『大学ランキング2021』（朝日新聞出版）

13位

学長からの評価 ＜総合＞

（朝日新聞大学ランキング2021）

5位

学長からの評価 ＜注目する学長＞

（朝日新聞大学ランキング2021）

THE世界大学ランキング2019 総合順位

全国141位～150位
北関東甲信越10位（私学1位）
群馬県2位（私学1位）

国際性分野
全国40位
北関東甲信越3位
群馬県1位

教育充実度分野
全国75位
北関東甲信越6位
群馬県1位

2位

全学生に占める
留学経験者割合
（短期）

（THE世界大学ランキング日本版2017）

5位

グローバル時代を先導する
改革に積極的な大学

（サンデー毎日2016.1）

18位

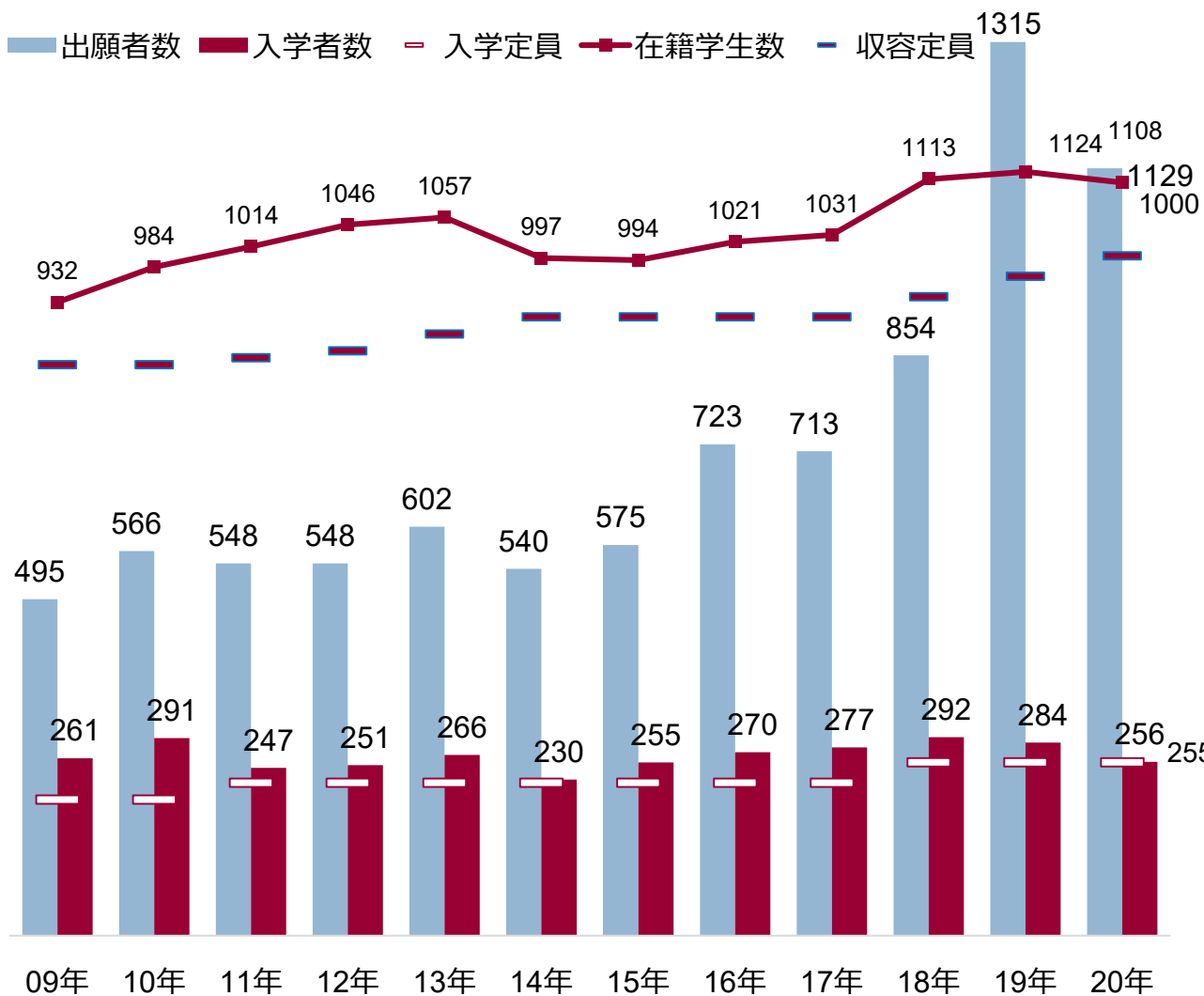
全授業に対する
AL授業の割合

（THE世界大学ランキング日本版2017）

28位

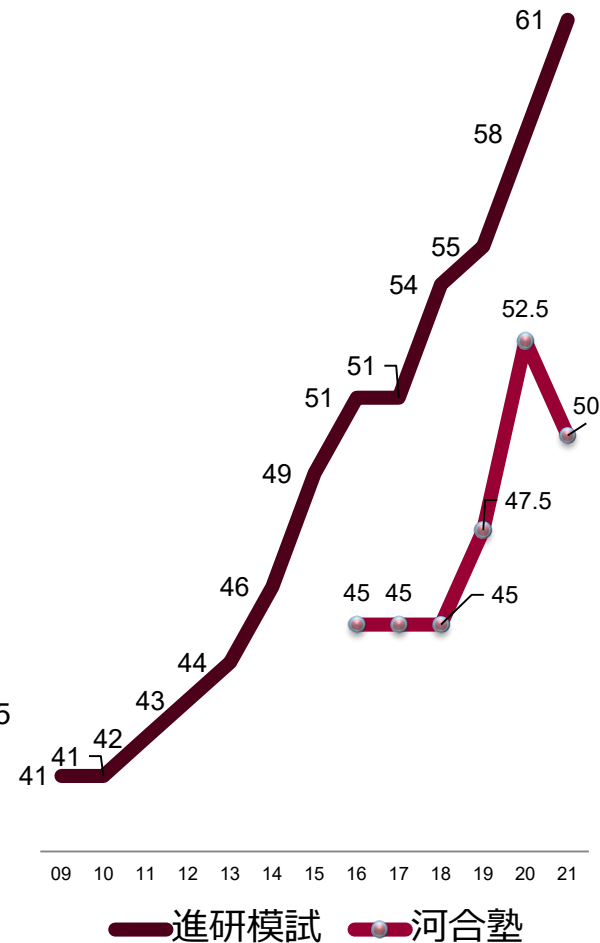
グローバル教育力
（週刊ダイヤモンド2015.11）

在籍学生数・出願者数・入学者数推移



偏差値の推移(参考)

入試種別最高値



地学一体で育てる「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」 ＝「飛び立たないグローバル人材」

KYOAI
GLOCAL PROJECT



各コースの専門性とGGJ・COCの実践が有機的に運動し、質の高い学修プログラムを提供

スーパーグローバル大学等事業 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (GGJ)
(全国42大学・県内1大学)

<次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダーの育成>

- Global Career Training 副専攻
- 地域連携グローバル人材育成推進協議会
- Global Project Work
- 海外留学60%

国際社会学部

- 英語コース
- 国際コース
- 情報・経営コース
- 心理・人間文化コース
- 児童教育コース



文部科学省
地(知)の拠点

地(知)の拠点整備事業 (COC)

(全国77大学・県内2大学)

<地学一体化加速プロジェクト：持続的地(知)の拠点創成へ>

- サービスラーニングターム
- 地域理解科目群の100%履修
- 地域産業人材に求められる素養の検討
- 地学一体化モデルの構築

21012～2019に
KYOAI GLOCAL PROJECTの
基盤となる

GGJ・COC・AP・COC+
4大事業の拠点に選定

学修プログラム

学生

地域・地域産業界に必要とされる人材
グローバル・リーダー

地域に根差しながら、地域と世界をつなぎ、
海外の人材・物流・活力を地域に取り込み、
地域の振興を先導する人材

(学生の85%が群馬県出身、卒業生の70%が県内に就職)

学びのPDCA

学修プログラムのPDCA

学修成果確認

学修質保証

大学教育再生加速プロジェクト (AP) (全国46大学・県内1大学)

<学修質保証システムの構築>

- アクティブラーニングの促進と質保証
- 学修質保証システム基盤整備
- 学修成果の可視化



GGJ・COC・AP
の3大事業の採択
を受けているのは
全国で4大学のみ

学修質保証システムにより、学生は学修成果を確認しながら学びのPDCAを、大学は学修プログラムのPDCAを展開



文部科学省
地(知)の拠点

地(知)の拠点大学による地方創生推進事(COC+)
(全国40大学・私立大学は2大学のみ)

<持続的^①地方創生共同体形成プログラム
：若者定着^②県域総ぐるみ計画>

- 社会連携教育による地域人材育成
 - 地域産業人材育成 □ インバウンド人材育成
 - イノベーション人材育成 □ 次世代農業人材育成
- 多様なインターンシップ
- 産業界と大学の密なコミュニケーションの創出
- 地元人材のための雇用創出やUターン支援

事業協働機関

- 【参加大学】 高崎商科大学、上武大学、明治学院大学
 【参加自治体】 群馬県、前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市
 【参加企業等】 群馬県商工会議所連合会、群馬県中小企業同友会、前橋商工会議所、群馬銀行、しのめ信用金庫、上毛新聞社、ワークエントリ、サンデンホールディングス、ジェイアイエヌ、相模屋食料、サンデン環境みらい財団、教育支援北関東、いせさきNPO協議会社会貢献ネット
 【協力大学】 群馬大学、群馬県立女子大学、群馬県立県民健康科学大学、前橋工科大学、高崎健康福祉大学、東洋大学(板倉キャンパス)、群馬医療福祉大学

①教育の質転換



アクティブラーニングのために
設計されたKYOAI COMMONS

Seminar Studio



Creative Studio



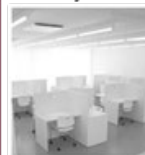
ICT Area



i-Reading Area



Study Area



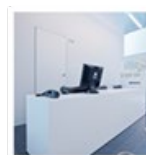
International Area



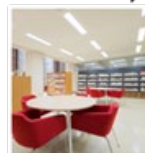
Group Work Area



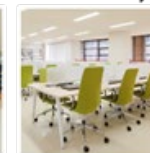
Staff Counter



Active Library



Active Library



ユビキタス
キャンパス



全普通教室
AL仕様



教育質転換
100%の専任
教員がアク
ティブラー
ニング実践

AL実践
専任教員
100%

卒業までに
93%の学生
がALを受講
(ゼミ等除
く)

AL受講学生
93%

②グローバルな学びも地学一体で取り組む

様々な留学研修プログラム



グローバル人材育成推進協議会

サ
ン
デ
ン

育
委
員
会

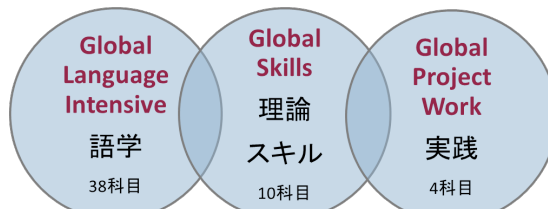
伊勢崎市教

(事務局)

橋国際大学

共愛学園前

Global Career Training 副専攻



Global Language Intensive	English for Global Issues I/II Internet English Advanced Listening I/II Advanced Writing I/II 中国語a/b/c/d/e/f 米海外研修 I / II	Speaking of Japan I/II Business English I/II/III/IV Advanced Reading I/II Academic Writing I/II 加海外研修 実践中国語 I / II / III	Professional Presentation I/II 英語Debate I/II Advanced Speaking I/II One on One English 豪海外研修 I / II
Global Skills	Multi-Cultural Understanding Global Leadership I/II	Multi-Cultural Communication Global Business Training I/II	Team Based Learning I/II Problem Based Training I/II
Global Project Work	Global Project Work I /II/III/IV		

One on One English



海外との1対1英語学修(正課)

Global Skills 科目群



英語のみのAL・地域社会人も参加

海外研修サポートインターン



中学生の海外研修を事前指導から引率

児童向けグローバルワークショップ



グローバルをテーマに小学生のWSを企画運営

ミッションコンプリート研修



アウェイで、自分たちだけでビジネスミッションをこなせ!

アジア異文化研修



海外ボランティアや現地大学生との交流

西北大学交換留学

上海研修

カナダ研修

オーストラリア研修

アメリカ中・短期留学

ニュージーランド留学

アイルランド研修

カナダ短期研修

韓国研修

イギリス研修

海外研修サポートインターン(アメリカ)

アジア異文化研修(タイ・台湾)

ミッションコンプリート研修(タイ)

東欧文化研修(ブルガリア・ルーマニア)

海外ティーチング研修(オーストラリア)

海外フィールドワーク(韓国・フィリピン・台湾)

学生の海外経験率約 50%

共愛学園前橋国際大学

③地学一体で取り組む地域人材育成

前橋市 + 共愛学園前橋国際大学

COC推進本部

副市長 教育長 政策部長 教育次長
文化スポーツ観光部長

前橋市 地域コーディネーター

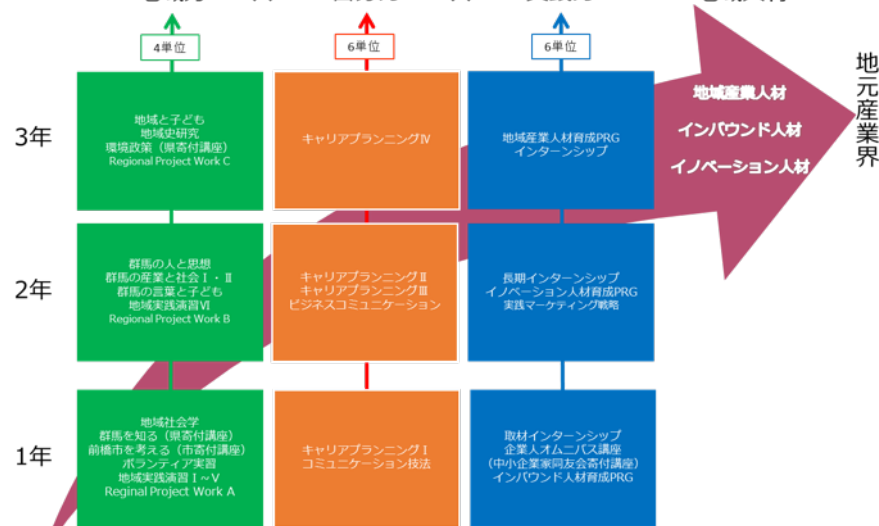
副学長 学部長 事務局長
学長補佐 地域連携担当教授

本学 地域コーディネーター

日常的に連携

Regional Career Training副専攻

地域力 × 自分力 × 実践力 = 地域人材



学生企業「蘭美蚕」



特産品開発で地域企業とコラボ!

やる気の木プロジェクト



前橋市職員・しない学生の活性化PJ.

環境ネットワークキャンパス



地元企業・他大学とのPBL

Mキッズサミット



市・NPOと子ども育成プロジェクト

M-Change



困難を抱える生徒の学習機会創生PJ

学校フィールド学習



年間を通して学生が学校を支援

ETC

児童英語教室サポーター
日本語教室サポーター
各種ボランティア

前橋学



地域の歴史を地域の中で地域の人と学ぶ

サービスラーニングチーム (半年の地域留学)

長期インターンシップ



RPW (Regional Project Work)



半年間大学に来なくていい

4か月間、大学に通う代わりに市役所や企業へインターンを行ったり、山間地域の限界集落に通ったりする。

共愛学園前橋国際大学における代表的な学びの類型

黒字：授業（単位認定）
青字：授業外活動

PBL／SL

- Problem based Training
- Gunma Innovation Award(ゼミ)
- Gunma Programing Award(ゼミ)
- Student Café
- 部室等建設（終了）
- Open Campus
- English Peer Tutor
- Chinese Peer Tutor
- Library Peer Tutor
- IT Support
- Residence Assistant

- 児童向けグローバルワークショップ（教委）
- 海外研修サポートインターン（教委）（終了）
- ミッションコンプリート研修（地元企業）
- 学生企業「繭美蚕」（地元企業）
- バーチャルカンパニー（地元企業）
- 群馬方言かるたプロジェクト（ゼミ）（住民・学校・企業）
- Mキッズサミット（生涯学習課）（終了）
- Mチェンジ（福祉課・NPO）
- やる気の木PJ（政策課）
- 環境ネットワークキャンパス（地元企業・大学）
- 学校フィールド学習（地元小学校）
- 日本語教室サポーター（教委）
- 長期インターン（地元企業・自治体）
- Regional Project Work（地域・NPO）
- インバウンド人材育成PJ（観光協会等）
- 高齢者向けPC講座（公民館）
- 高大接続・探究学修支援（地元高校）
- 前橋プロジェクト（慶応大学）
- めぶく。フェス（地元団体）

大学内

□ 各授業

Active Learning

知識修得

社会連携

- キャリアプランニングⅢ（地元企業協働講座）
- 企業人オムニバス（中小企業家同友会寄付講座）
- 環境政策（県庁寄付講座）
- 群馬を知る（県庁寄付講座）
- 前橋市を考える（市役所寄付講座）
- 社会文化心理学（地域の中での授業）
- 前橋学講座（各公民館）

④ KYOAI CAREER GATEによる学修成果のキャリアへの接続と 自律的な学習者の養成

4年間の主体的な学習とその成果を目に見える形で積み上げ、キャリアにつなげる。

4年間に会うたくさんの学びと活動。その一つ一つを、eポートフォリオである

KYOAI CAREER GATE

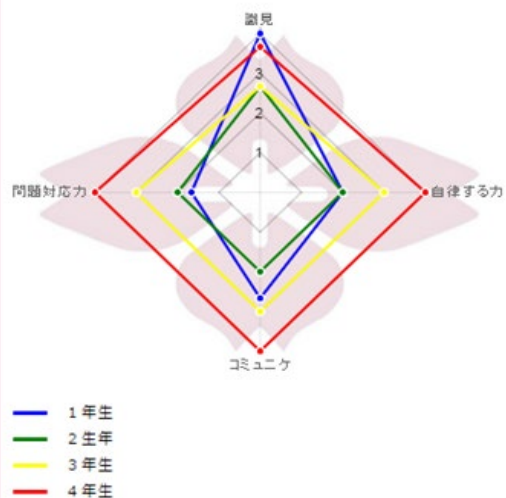
に蓄積し、自分の学習を振り返りながら、それをエビデンスとして、学習成果指標に基づく成果の自己評価と可視化をします。さらに、その活動や成果を

SHOWCASE

を通して社会へと発信し、目指すキャリアへと接続します。



共愛12の力 レーダチャート



4年間の学修で身に付ける4つの軸と12の力（学修成果指標）

国際性	■ 共生のための知識	■ 共生のための態度	■ グローバル・マインド
自律する力	■ 自己を理解する力	■ 自己を制御する力	■ 主体性
コミュニケーション	■ 伝え合う力	■ 協働する力	■ 関係を構築する力
問題に対応する力	■ 分析し、嗜好する力	■ 構想し、実行する力	■ 実践的スキル

SHOWCASE (KCG+S)

KCG に蓄積した成長の記録を公開履歴書としてキャリアに接続

≡ CAREER ≡

地域理解・地元就職を支援する取組

カリキュラム全体での地域志向の学び

Regional Career Training 副専攻

地域・地元企業理解のための学び

【地元寄付講座】

- 群馬を知る（群馬県庁）
- 前橋市を考える（前橋市役所）
- 企業人オムニバス（群馬中小企業家同友会）
- キャリアプランニング（地元複数企業）

【地元企業等へのインターンシップ】

- インターンシップ（2週間）
- 取材インターンシップ
- 長期インターンシップ（4か月）

【地域志向科目の増加と履修必修化】

群馬の産業と社会、群馬の人と思想など地元地域をテーマにした科目

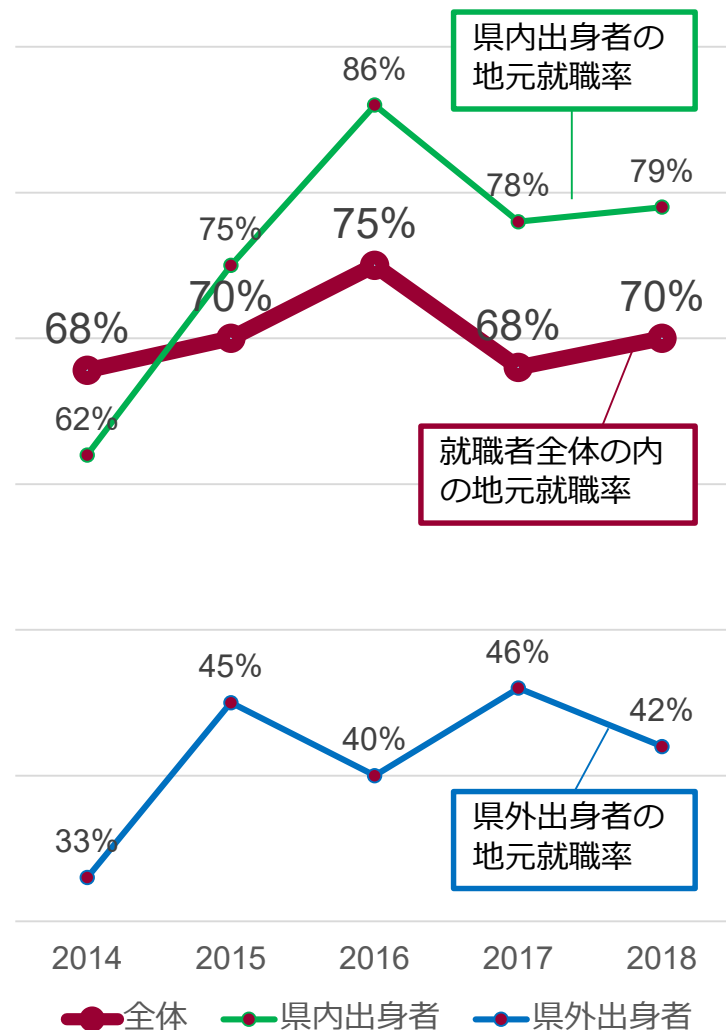
	2012年度	2019年度
科目数	13科目	→ 29科目
受講者	953人	→ 1950人

地元就職支援

- 地元企業による業界セミナー
- 地元企業による就職イベント
- 地元就活手帳「18months Career Design Handbook」制作・配布
- 群馬就活特化情報サイト「ぐんまシューカツnet」の運営



群馬県内就職率推移



卒業生のグローバル

地元企業の海外プロジェクト室



日本精工高崎で海外プロジェクト室に勤務する卒業生

地元企業でグローバルに活躍

- Aさん：ヨーロッパの旅行会社に勤務の後群馬県に戻りホチキス針会社に就業、日々海外との取引に追われる。
- Bさん：自動車部品を製造するモノ作り企業へ内定。着任までに英語を復習しておくよう指示を受ける。
- Cさん：ICチップを製造する企業へ就職。社員国際化プロジェクトリーダーに抜擢。
- Dさん(ペルー国籍)：スペイン語の知識を仕事に生かして活躍。
- (群馬県の特徴として外国籍学生が複数在籍しており、留学生のみならずキャンパスの国際化に寄与している)

グローバルな学びを経て地元で起業



地元企業と特産品商品開発

1 ミッション

1st.タイ人にタイ語で自己紹介せよ!

ルール

- インターネットで調べる以外の方法で行う
- 個人行動



地元企業の海外現地法人で
ミッションコンプリート研修

1 ビジネスプラン



KYOGI GLOBAL SEMINAR ON 2/20 PRESENTED BY LYN NEGISHI

ゼミで地元活性化と若者
支援のビジネスプラン



GUNMA INNOVATION AWARD
入賞

起業



ぐんま経済新聞 (2019年2月8日)

共愛学園前橋国際大学4年の神宮亮さんは1月29日、ミャンマー人のITエンジニアを県内企業へ有料職業人材として紹介する株式会社g l o c a l (高崎市上豊岡町)を設立した。ミャンマーのIT系大学2校(UIT大学とUCSY大学)と提携しITPEC(アイティーパック)アジア共通統一試験の合格者を、人材不足に悩む群馬県を中心としたIT企業などへ紹介する。

地元自治体との関係・協働(前橋市を例に)

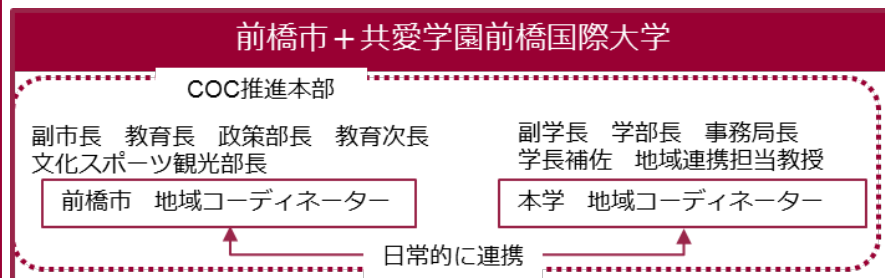
——協 定——

前橋市との連携協力に関する包括連携協定
 前橋市教育委員会との連携に関する覚書
 前橋市立筑井小学校との地域連携協議会覚書
 公立前橋工科大学との教育研究連携に関する協定
 (前橋商工会議所との地域人材育成に関する協定)
 (中央情報経理専門学校(前橋市)との連携協定)

一般財団法人サンデン環境みらい財団との連携・協力協定
 伊勢崎市教育委員会とのカリキュラムパートナー協定
 サンデンHD・伊勢崎市教委とのグローバル人材育成協議会
 群馬県との若者定着に関する協定
 その他多くの企業とのインターンシップ協定

——COC推進本部の共同設置——

本部長：副学長
 副本部長：副市長・教育長



<http://www.city.maebashi.gunma.jp/sisei/499/505/p014304.html>

——政策策定過程への参画——

- ・ 県都まえばし創生本部有識者会議員
 - ・ 前橋ビジョン策定委員
 - ・ 前橋市地域づくりアドバイザー
 - ・ 前橋市水と緑のまちをつくる審議会委員
 - ・ 前橋文化政策懇話会委員
 - ・ アーツカウンシル前橋委員
 - ・ 前橋市アーバンデザイン策定協議会長
 - ・ 前橋版CCRC構想推進協議会委員
 - ・ 前橋市地域自立支援協議会特定会議委員
 - ・ 前橋市地域福祉計画活動策定委員
 - ・ 前橋市男女共同参画審議会
 - ・ 前橋市男女共同参画基本計策定支援者審査委員
 - ・ 前橋市教育委員会外部評価委員
 - ・ 前橋市学校選択制検討委員
 - ・ 前橋市学校適正規模検討委員
 - ・ 前橋市立幼稚園充実検討委員
 - ・ 前橋市社会教育委員
 - ・ 前橋市公民館運営審議会
 - ・ 前橋市家庭教育支援連絡協議会長
 - ・ 前橋工科大学法人化等改革検討委員
 - ・ 前橋市公立大学法人評価委員
 - ・ 前橋工科大学地域課題研究事業審査委員
 - ・ 前橋まちづくり公社評議員
 - ・ 前橋市国際交流協会理事
 - ・ まえばし45DAYS実行委員
 - ・ めぶくフェス実行委員長
 - ・ スーパーシティ（申請予定）アーキテク
 - ・ その他
- 【終了した委員も含む】

——協働のTOPIC——



市内各地区の地域づくり協議会の立ち上げから10年間、市民・本学と地域住民の参画を得て本学がまとめた本。

地元自治体との関係・協働(前橋市を例に)

——協働事業——

授業「前橋市を考える」
前橋市の寄付講座。毎週異なる部署から講師派遣。

やる気の木PJ
市内大学生が市若手職員と展開する街中活性化PJ

はじめてのPC講座
公民館と共催。学生が講師。会場は本学。

歴史文化遺産活用委員会
文化国際課予算の委託で市と大学が共同設置。

45DAYS/まえきフェス
市・JR等と協働し街中・駅前活性化事業に参画



Inbound人材育成PRG

長期インターンシップ
4か月、市役所各部署で5名の学生を受け入れ。

Mキッズサミット
子ども育成PRG。生涯学習課・NPO・本学生のコラボ。

前橋・共愛子育て広場
10年以上続く子育て支援事業。

5G等ICT活用推進協議会
市とNTT Docomoの取組に参画

めぶくフェス
前橋Vision「めぶく」を体現。本学教員が実行委員長。



BRG大使・市長・学生が植樹

Mチェンジ
中学生寄添型支援。福祉課・NPO本学生のコラボ。

Inbound人材育成PRG
観光コンベンション協会、観光振興課とコラボ。

Birmingham姉妹都市交流
市の姉妹都市締結に本学も同行。交流PRGを策定中。

Gunma Programing Award
上毛新聞・市が共催。本学は運営協力

けえろう祭
市・商工会議所・商店街とコラボした学生の街中イベント。



けえろう祭で市長と

筑井小こざくらプラン
年間を通して学生2名が毎日「勤務」、10年超の取組。

前橋学講座
毎年各公民館を回る歴史講座。10年継続。

Bulgaria Connection
市のブルガリア交流促進のため本学が同国と交流開始

慶應×共愛 前橋PJ
慶應と本学学生60名が前橋中心地で合宿。活性化策探る



本学が「前橋国際大学」の「まちなか研究」を推進している。この取り組みは、前橋市の国際化と地域活性化に貢献している。

Colum



教員の「熱」が学生に伝わり広がっているのを感じます

前橋市政策部 未来の芽創造課 課長 谷内田 修

めぶく。プラットフォーム前橋 について

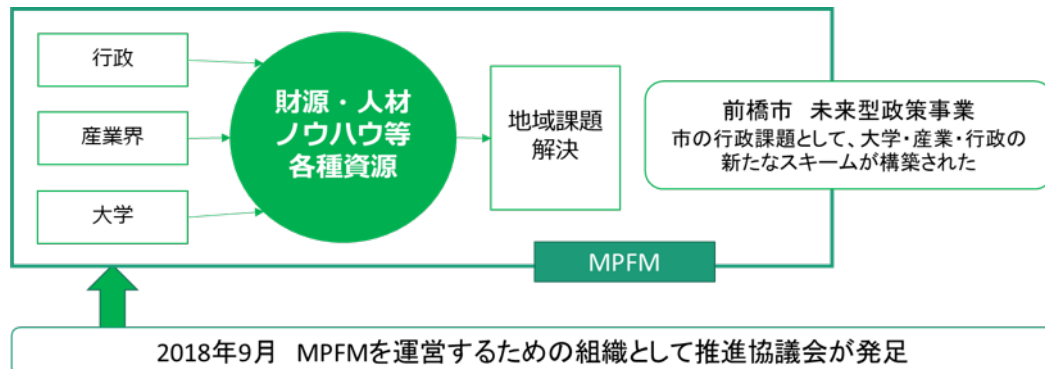


前橋市の教育

- ・ 小学校49校 中学校23校
- ・ 特別支援学校8校
- ・ 高等学校12校
 - ・ 県立前橋高等学校
 - ・ 県立前橋女子高等学校
 - ・ 県立前橋東高等学校
 - ・ 県立前橋西高等学校
 - ・ 県立前橋南高等学校
 - ・ 県立勢多農林高等学校
 - ・ 県立前橋工業高等学校
 - ・ 県立前橋商業高等学校
 - ・ 県立前橋清陵高等学校
 - ・ 市立前橋高等学校
 - ・ 共愛学園高等学校
 - ・ 前橋育英高等学校
- ・ 専修学校30校
- ・ 高等専門学校1校
- ・ 大学6校
 - ・ 国立群馬大学
 - ・ 群馬県立県民健康科学大学
 - ・ 公立前橋工科大学
 - ・ 共愛学園前橋国際大学
 - ・ 群馬医療福祉大学・短期大学部
 - ・ 明和学園短期大学



めぶく。プラットフォーム前橋の成り立ち



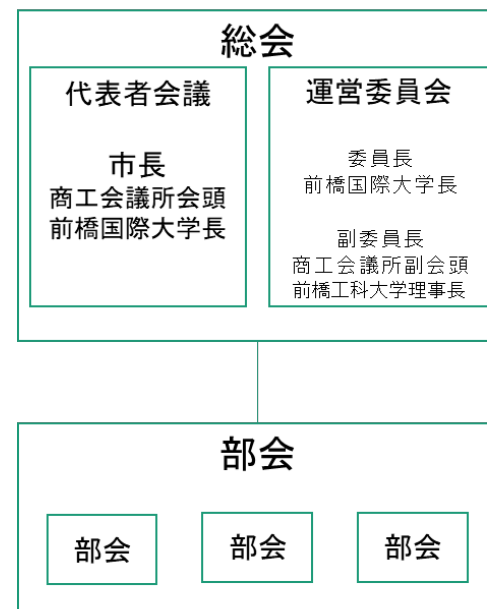
地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会



<https://www.mebuku-pfm.jp/>

- 前橋市
- 前橋商工会議所
- 群馬大学
- 県立県民健康科学大学
- 市立前橋工科大学
- 群馬医療福祉大学
- 明和学園短期大学
- 共愛学園前橋国際大学

連携基盤推進協議会の組織



共同事務局

めぶく。プラットフォーム
各方面より注目される

地域連携プラットフォームに関する取組例 「めぶく。プラットフォーム前橋」

前橋市の課題は人口減少であり、特に生産年齢人口（15歳～64歳）の変動が大きく、平成17（2005）年から平成27（2015）年までの10年間で約2万2千人が減少しています。

その大きな要因が、15歳～24歳の転出超過であり、進学や就職のタイミングで市内に定着しにくい状況となっています。また、企業の新規採用について他機関を念め具体的な数値を把握できていないことや、市内全ての大学が参加する形で産官学連携体制が図られておらず、それぞれのリソースを十分に共有・発揮できていないことも大きな課題と捉えられています。

そこで、平成30（2018）年9月25日、市内の国公立全6大学・前橋商工会議所・前橋市は、連携協定を締結し、産学官が連携し合うための協議会「めぶく。プラットフォーム前橋」を設立して、地域人材の育成・定着の課題解決に向けた強固な連携体制を推進しています。

プラットフォーム形成によって、産業界、行政、教育界が共通して抱える複合的な地域課題（若者の地元進学・就職、事業承継等）の解決を行うことを目標としています。

（高等教育に係る目標の例）

- ・前橋市内大学の魅力向上と就職機会の強化を通じ、入学者市内占有率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。
- ・魅力溢れる市内産業との接点機会の創出等を通じ、市内就職率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。



平成30年度文部科学白書
に好事例として掲載

中央教育審議会大学分科会（第151回）

「地域における高等教育機関と大学間の連携の在り方について」発表資料

「めぶく。プラットフォーム 前橋」について

発表者：共愛学園前橋国際大学 学長 大森昭生
前橋市政策部未来の芽創造課 課長 谷内田修

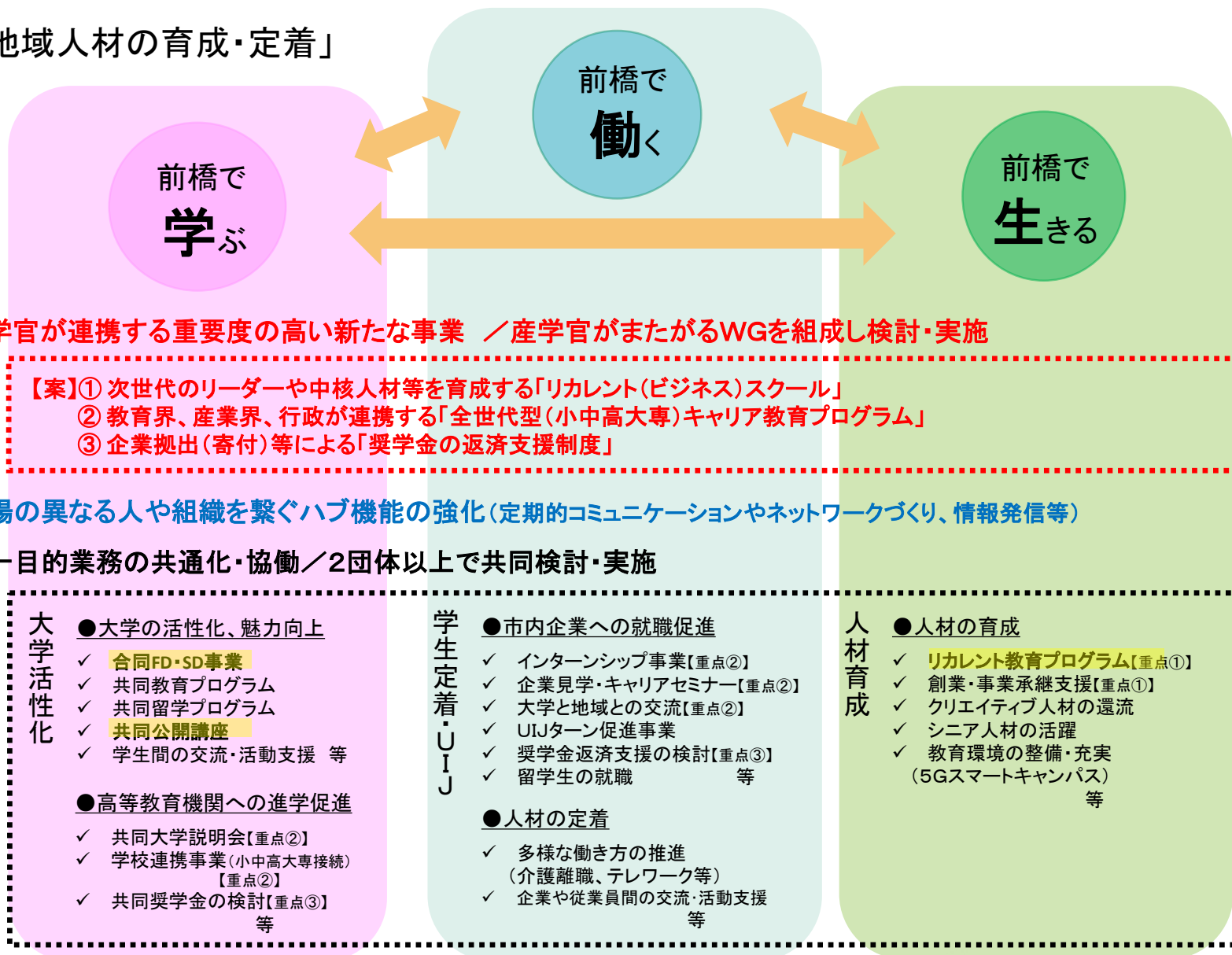
中央教育審議会大学分科会
（第151回）にて共愛学園前橋
国際大学学長と前橋市未来の
芽創造課長が事例報告

めぶく。プラットフォーム前橋の取組

1 目的 「地域人材の育成・定着」

2 テーマ

3 取り組み



～2016年に官民協働で策定～



① 前橋市のミッション（新しい価値の創造）

都市の暮らしやすさ、多様性、寛容性をベースに
街や人が幸せになる新たな価値の創造（めぶく）に挑戦する人やコトを支える

② 前橋市の取り組み

民間共創

- 都市魅力アップ
- 前橋ビジョン
- 太陽の会
- 太陽の鐘

市民・大学との連携

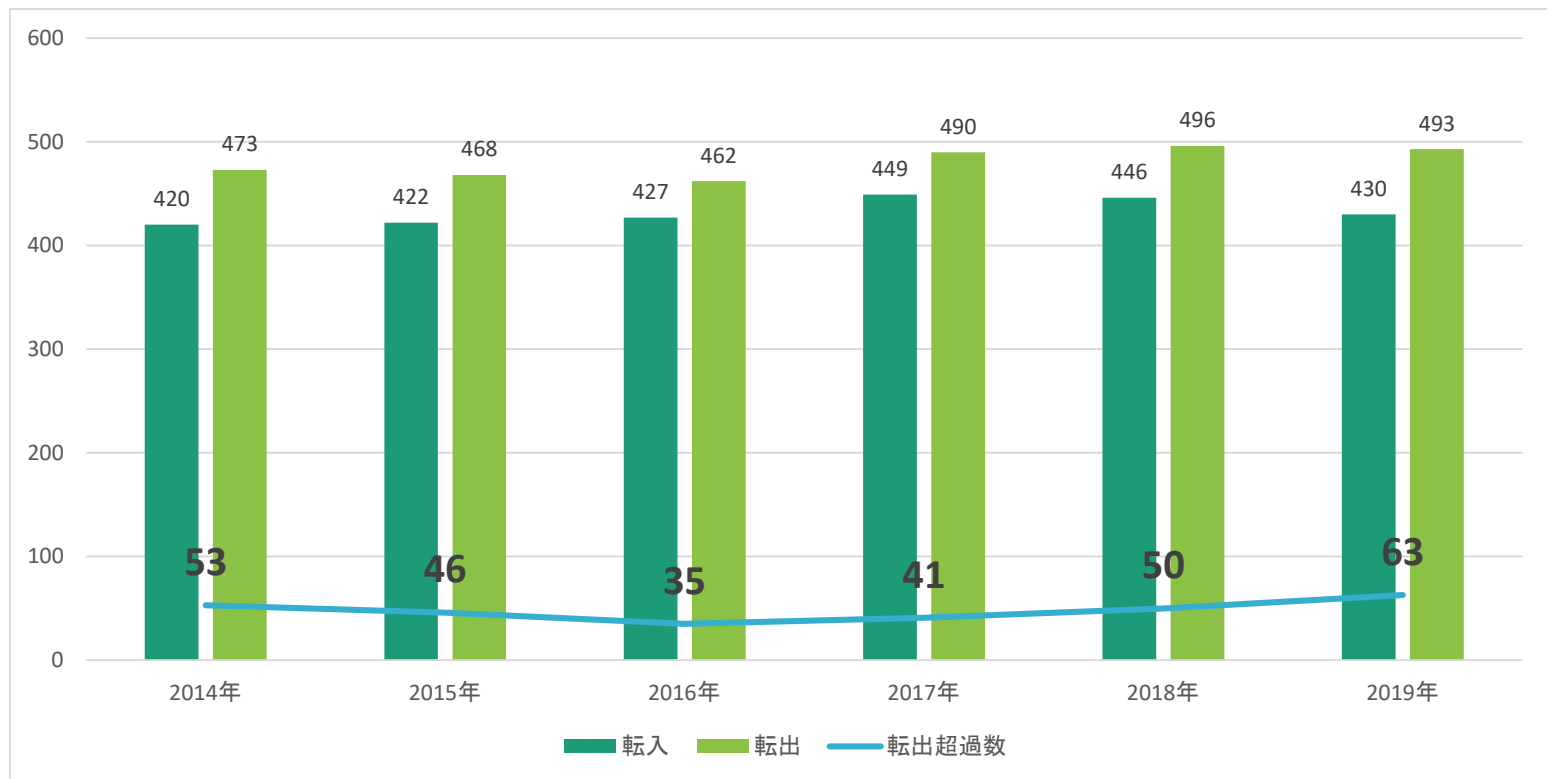
- めぶくプラットフォーム
- 大学連携
(やる気の木、COC+)
- ソーシャルアクション

未来型政策

- EBPM
- MaaS、自動運転
- ICTまちづくり
- 成果連動
- スローシティ
- スーパーシティ

【前橋市】15-19歳（大学等進学時）の若者流出

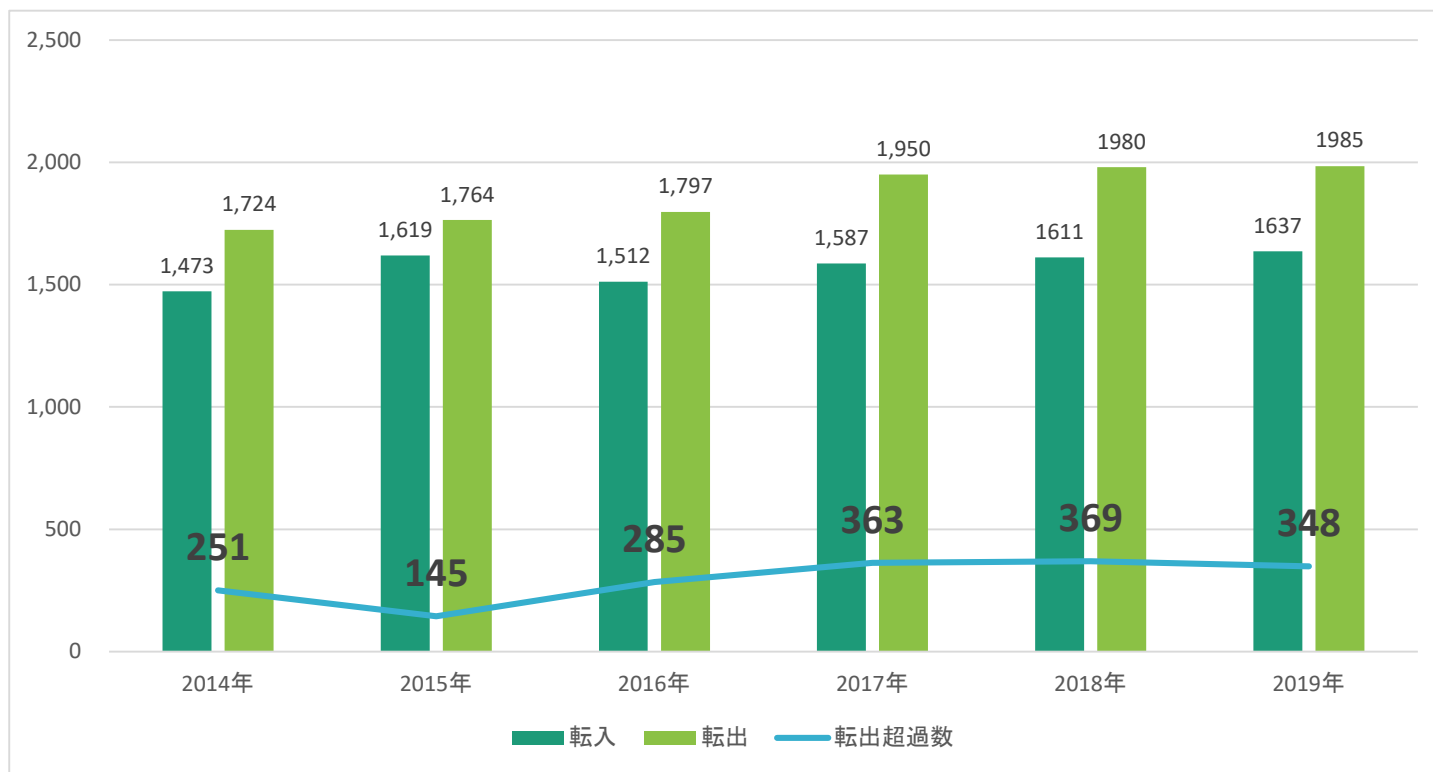
- 転出者が転入者を上回る「転出超過」が続いている
- 転出超過数は、横ばいかやや減少傾向



（出典）総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成

【前橋市】20-24歳（就職時）の若者流出

- 転出者が転入者を上回る「転出超過」が続いている
- 転出超過数は、やや増加傾向



（出典）総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成

地域人材の育成・定着の前提として 事業所・従業員数が減少しているという課題

前橋市における存続・廃業・新設別での
民営事業所数・従業員数の変化
(経済センサス活動より)

「いかに働く場をつくるか」

H26年

H28年

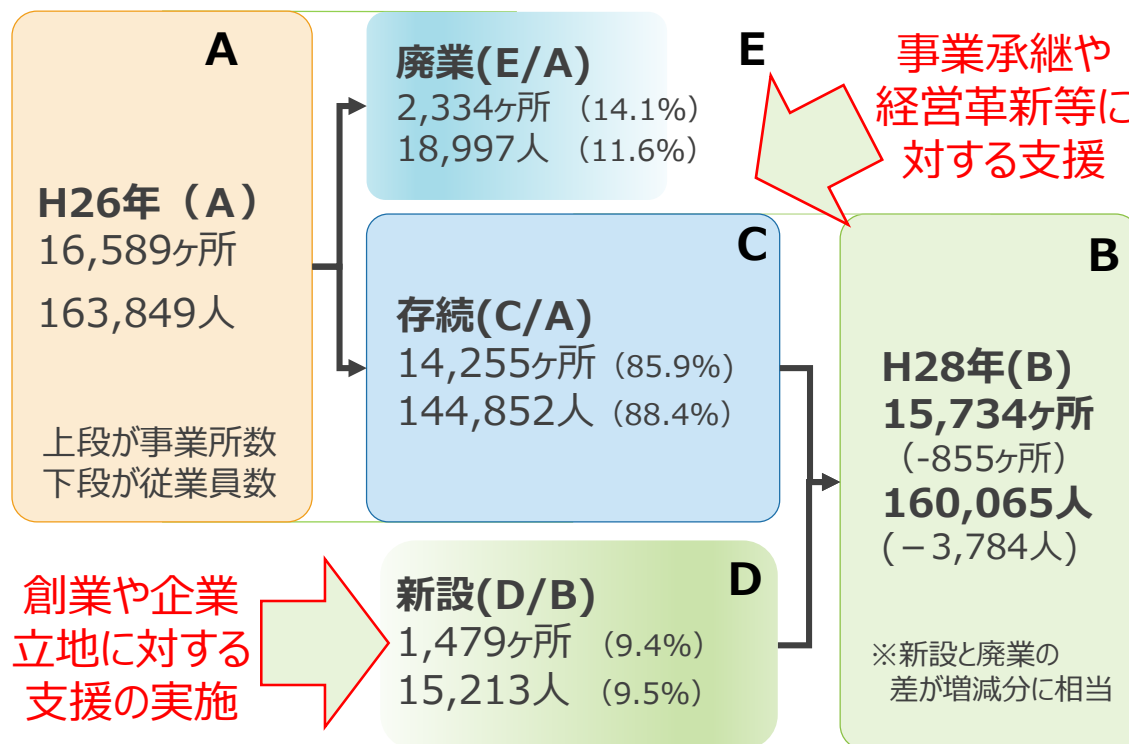
そのためには、

1.事業継続性のある
稼げる企業を増やす

2.新しい企業を増やす

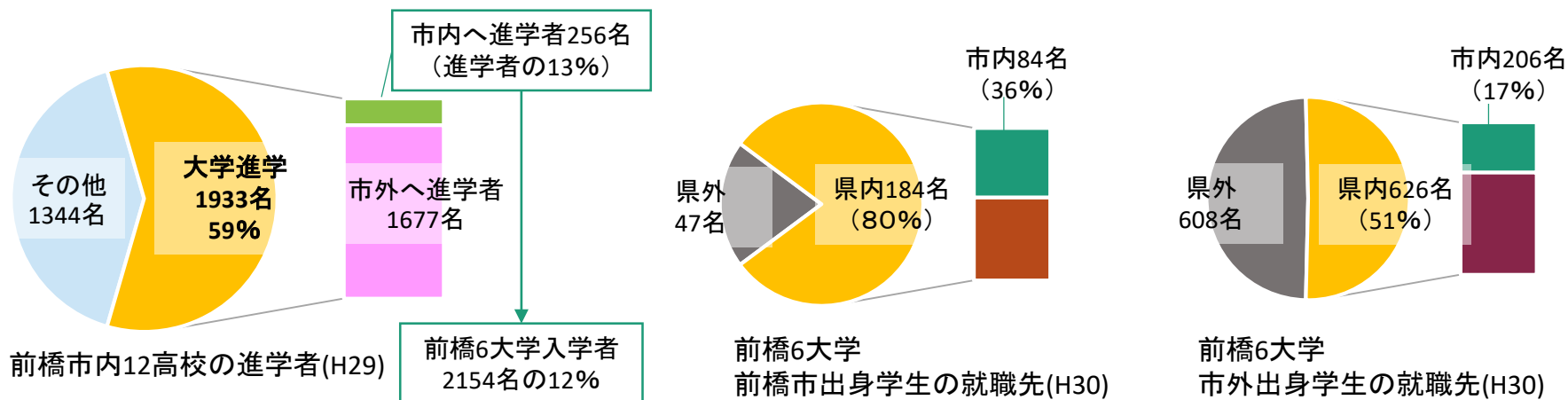
産業界として稼ぐ企業づくり
を支援できるかが重要。

ただし、人手不足という
課題が存在。



課題解決に向けて動き出した「めぶく。プラットフォーム前橋」

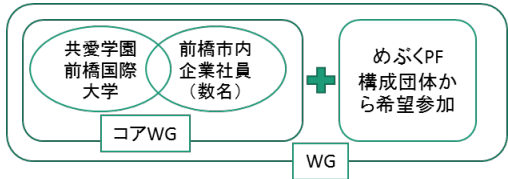
大学が協働することで明らかになってきた若者進学・就職データ



事業承継の課題に向き合うリカレントプロジェクトが始動

Mebuku Business School (仮称)

- 目的：**前橋（を中心とする群馬）の企業の次世代経営人材・中核人材が、ビジネスの基礎を学ぶことができるスクールを産学協働で運営し、激しい経営環境変化に対応した地元産業の活性化や事業承継等の地域課題解決に寄与する。
- 準備・運営スキーム**
- 3. スクールのイメージ**



科目名(例)		6時間	6時間	6時間	6時間	6時間
ビジネス基礎	30時間	経営学基礎A	経営学基礎B	財務分析	会計	税務
経営マネジメント	30時間	組織論	人的資源管理	マネジメントサイエンス	DXとビジネス	データサイエンス
ビジネスマインドとリーダーシップ	30時間	リーダーシップ論	チームビルディング	特別講義A	特別講義B	ビジネスモデル
ケーススタディゼミナール	30時間	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	合同プレゼン

大学連携・大学活性化の協働プロジェクトが始動

- 前橋6大学合同説明会
- 前橋6大学合同教職員研修
- 前橋6大学合同進学相談会
- 前橋6大学合同進学セミナー
- めぶく。プラットフォーム前橋 共同公開講座 etc...



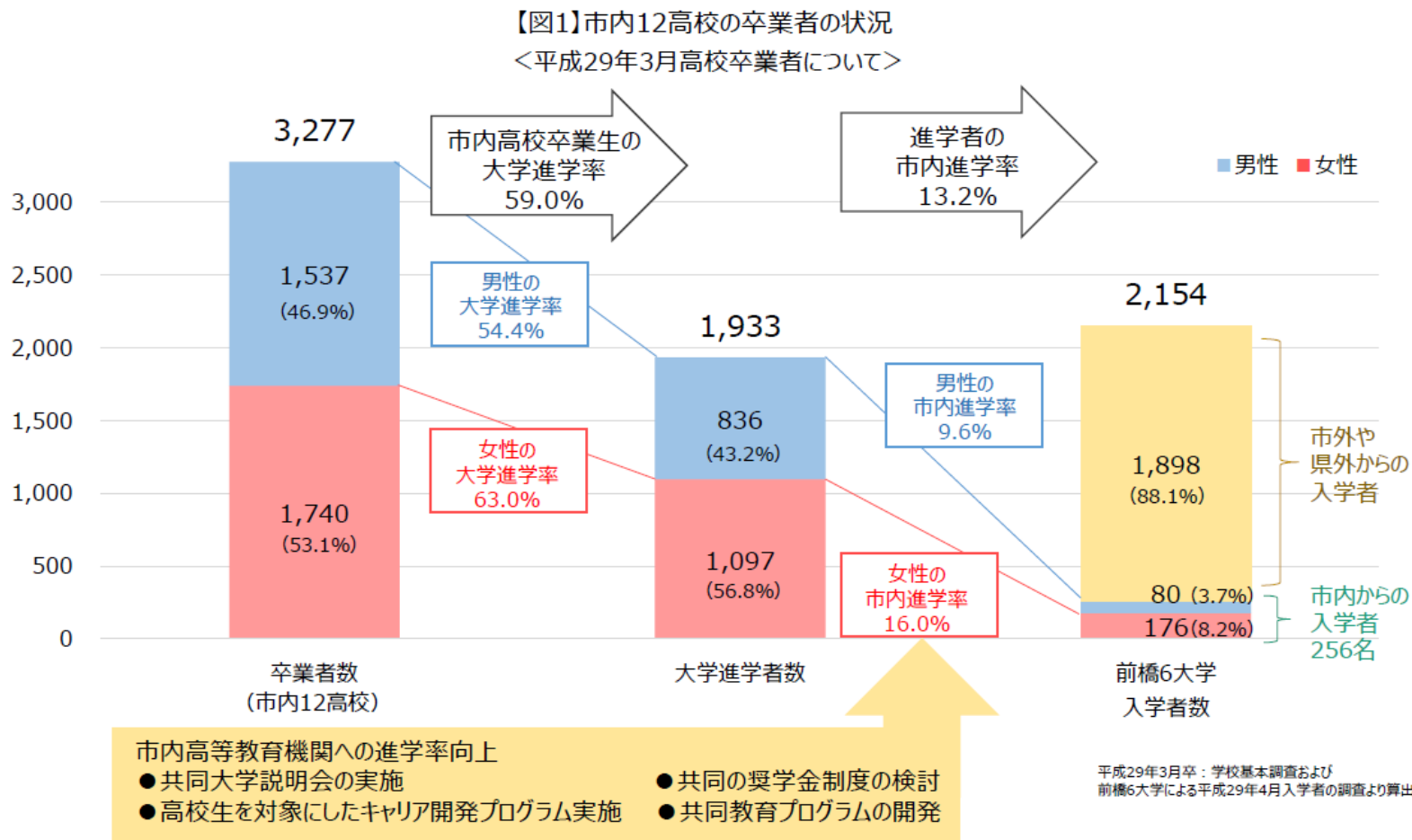
ご清聴ありがとうございました



以下、参考資料もご覧ください

(参考 1) 前橋12高校から前橋6大学への進学状況

①前橋6大学における市内12高校からの進学状況

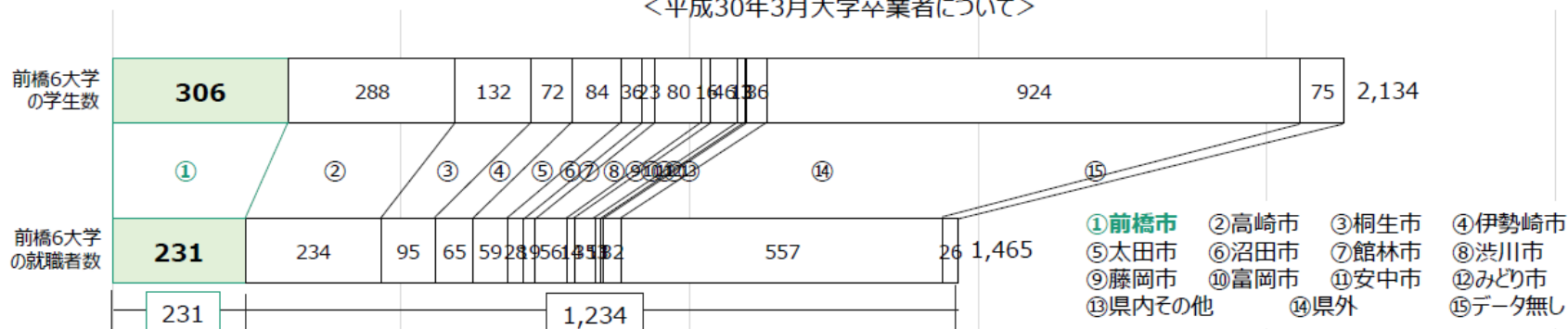


(参考2) 前橋6大学就職状況

②前橋6大学における就職状況（全体像について）

【図2】 前橋6大学における就職状況

＜平成30年3月大学卒業生について＞



前橋6大学における平成30年学校基本調査より算出

【表1】出身高校地域別の県外就職の内訳（上位から表示）

市内12高校出身		市外県外高校出身	
都道府県名	人数	都道府県名	人数
東京都	18	東京都	206
埼玉県	12	埼玉県	120
栃木県	6	栃木県	51
神奈川県	2	神奈川県	42
その他	9	その他	189

市内への就職定着率向上
 ●市内企業との交流会の実施
 ●市内定着者への奨励金の検討

市内への就職定着率向上
 ●ハタクラスぐんまとの連携
 ●市内定着者への奨励金の検討

(参考3)

6大学学術マップと 大学共同の取組計画



めぶく。
プラットフォーム
前橋

大学の活性化に係る取組

【課題①】進学・就職の統計的な傾向分析	(取組1) 共同研究の実施
【課題②】若者定着のための、市内高等教育機関への進学率向上	(取組1) 共同大学説明会の実施 (取組2) 共同の奨学金制度の検討
【課題③】高大産官接続の充実	(取組1) 高校生を対象にしたキャリア開発プログラムの実施 (取組2) 共同教育プログラムの開発
【課題④】未来の前橋市を牽引する高等教育機関に発展を遂げるFD・SDの充実	(取組1) 合同FD・SDの開催
【課題⑤】国際交流プログラムの開発	(取組1) 留学プログラムの開発
【課題⑥】共同公開講座の実施	(取組1) 共同で公開講座を開催
【課題⑦】持続可能なプラットフォーム体制整備	(取組1) 他県先進コンソーシアムへの視察の実施 (取組2) シンポジウムの開催

教育の充実に係る取組

【課題⑧】初等中等教育支援	(取組1) 小中学校コミュニティスクール化の支援
リスクマネジメントに係る取組	
【課題⑨】地域における災害対策の連携	(取組1) リスクマネジメント委員会の設置
学生定着に係る取組	
【課題⑩】若者定着のための、市内就職先への就職率向上	(取組1) 若者定着に向けた異業種交流会 (取組2) ハタラクラスぐんまとの連携 (取組3) 市内定着者への奨励金
人材育成に係る取組	
【課題⑪】高等教育機関の特色を発揮したリカレント教育の充実	(取組1) リカレント教育プログラムの開発

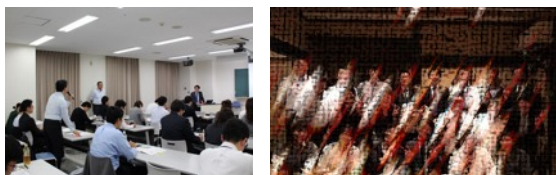
(参考4) 大学共同の取組例

2018年9月26日
市内6大学合同説明会



前橋プラザ元気21にぎわいホールにて、前橋市内6大学で初となる合同進学相談会を開催。チラシは共愛が作り、発信は群大が、広報活動は手分けして、など協働の開催となった。

2019年10月21日
合同SD・FD研修会を開催



若手教職員を中心に、6大学並びに前橋市から多数の教職員が参加し、改めて、めぶく。プラットフォーム前橋の意義や取組について確認し、高等教育に係る課題や改革の方向性について学んだ。また、懇親会も開催され教職員同士が懇親を深めた。前橋市内で初めての試みであったが、参加者の笑顔がその成功を物語っている。

2019年11月17日
前橋6大学合同進学
相談会・セミナー
開催



2019年2月3日
共同公開講座

めぶく。プラットフォーム前橋
地域人材の育成・定着にかかる包括連携協定事業



明和学園短期大学

平成30年度 明和学園短期大学

公開講座

参加無料

2月3日(日)

10:00~11:40 (受付9:30)

明和学園短期大学(昭和町三丁目)
5F 501教室

対象: 一般 50名 ※募集は先着順として定員になり次第締め切らせて頂きます。



～めいたんキッチン(災害編)の講義の様子～

- * 防災に関するお話・パネル展示
- * 災害食の試食
- * 簡単な健康体操

主催: 明和学園短期大学

共催: めぶく。プラットフォーム前橋(参加団体: 前橋市/前橋商工会議所/群馬大学
群馬県立県民健康科学大学/前橋工科大学/群馬医療福祉大学・短期大学部
共愛学園前橋国際大学)

明和学園短期大学の公開講座を「めぶく。プラットフォーム前橋」と共催するという初の試み。今後の公開講座共同開催の足掛かりとなる。

